

令和3年度
第2回 北広島市旧島松駅通所整備基本計画検討委員会 議事録

日時 令和3年12月17日(金)午後6時00分から
場所 北広島市エコミュージアムセンター2階 研修室

◎出席者

●委員

北海道大学名誉教授：角幸博、北海道大学名誉教授：平井卓郎、
札幌市立大学准教授：森朋子、北海道博物館学芸員：圓谷昂史、
北海道埋蔵文化財センター：藤井浩

●オブザーバー

北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課：赤井文人
北広島市役所企画財政部企画課長：佐藤直人
北広島市役所経済部観光振興課長：橋本征紀
北広島市役所建設部建築課長：松崎隆志

●事務局

教育部長：千葉直樹

エコミュージアムセンター長：丸毛直樹、主査：梶誠、主任：記内瑞徳

コンサルタント会社：(株)KITABA 神長、窪田、百瀬

北電総合設計(株) 大日向

1 開 会

2 座長あいさつ

角委員長

- ・ 前回の委員会において、みなさんからいただいた意見を反映した案を本日お持ちしている。
- ・ 本日は天気あまり良くないので、19時30分頃を目処に終了できればと考えている。
- ・ みなさんの意見をいただき、より良い計画を作っていきたい。

3 議事

【報告】

- (1) 史跡旧島松駅通所耐震診断調査業務委託報告書(抜粋) 資料-1
- (2) 前回委員会の議事概要 資料-2

北電総合設計(株)

- ・ 資料1について説明

平井委員

- ・ 実際に壁を開けてみないと詳細はわからないので、この状態そのままではできないこともある。設計変更は次々と出てくる。
- ・ そう言ったことは普通なので、北広島市の建築関係の方々と相談をしながら、代替案が必要な場合はどうやるか、継続して協議・検討していく必要がある。
- ・ 鉄骨のアングルのなものを入れて、構造材に出来ないわけではない。

森委員

- ・ 配線など露わになっているものを、中に一緒に入れて隠すというのは可能なのか。

平井委員

- ・ 可能だが、耐震補強と配線を同時にやってしまうと、図面だけでやるとうまくいかないことが多いので、最初の設計案を作る際に設計者と一緒に相談・検討する必要がある。

北広島市教育委員会

- ・ せっきくの改修なので、そのようなことも含めて、検討したい。建築の課長と合わせて相談していきたい。
- ・ 事前にわかっているならば、そのようなことも含めて対応していきたい。配線の見せない、スッキリさせることも対応できると思う。

平井委員

- ・ 配線については、後から電気屋さんが入るとあちこち穴だらけになることがある。

角委員長

- ・ 基本設計の時に、ある程度そこは事前に計画に抱き合わせにした方がいい。

北電総合設計(株)

- ・ 幸い、天井裏の空間や床下にもスペースがあるので、壁の中に隠すことは考えなくてもいいのではと考えている。
- ・ 床下はそんなに高くないが、配線のスペースを置くくらいは問題ないと思う。

平井委員

- ・ そのほうがメンテナンスは楽になると思う。

オブザーバー: 赤井氏

- ・ 史跡の現状変更との関係で伺いたい。3ページの図面で、板が貼ってあって、簡単に剥がせるのは良いが、漆喰の壁などを剥がさなきゃいけないとなると、壊さずに1面剥がさなきゃいけないとなっても大丈夫か。

- ・ 明治天皇の写真が貼ってある部屋はどうか。

北電総合設計(株)

- ・ 漆喰の壁の仕上げはなく、基本的に剥がせる部材となっている。
- ・ 明治天皇の写真が貼ってある部屋についても、壁を外す計画となっているが、合板の上に白い紙を貼っている仕上げとなっている。

平井委員

- ・ 漆喰壁の時も剥がさなきゃいけない場合もある。外壁の下見板を剥がして、そちらから改修することが多い。大抵の場合はそれで大丈夫である。

(株)KITABA

- ・ 資料3について説明

森委員

- ・ よくまとまってきていると思う。
- ・ 補足的に伝えたいのが、P25に図を付け足していただいたが、前回は申し上げたのが、北海道の文化的価値を伝えるということがこの史跡が担っていることかと思う。
- ・ 当時、北海道開拓期の社会の特有のシステムがあったということを伝えたい。
- ・ 地形、建物、中山さんのことだけではなく、大きく、北海道開拓時にそういったシステムがあったこと、その中で、この場所があったことを、ちゃんと伝えていければと思うが、うまくまとめていると思う。
- ・ 4章の図で丸が3つある。青い丸の部分だが、この一番左の部分が今は島松の限定的な場所のことに着目している表現になっているが、もう少し、広域の、制度というか、駅通所ということが北海道の中でどのようなものだったのか、といった位置づけも入れていただくと分かりやすくなるのではないか。
- ・ 基本方針の中において紫で連携という言葉書かれており、道内自治体というのものもあるが、今現在残っている駅通所や文化財となっているものを着色してもらい、その展示をすることや、道内全体の駅通所のサミット、イベントにつなげるなども可能性とあるのではないかと考えている。

平井委員

- ・ P75では、島松エリアの地形について触れられているが、25ページの図にあるような全道的な視点での島松駅通所の意義が見えにくい。
- ・ 苫小牧から札幌に来るのに、島松駅邸所はどのような位置付けだったのか。苫小牧は当時港はなかったと思う。

角委員長

- ・ アイヌ民族が住む時代から、シコツ越えの時代、島松は石狩の方に抜ける重要な通りとしてあったの

ではないか。

- ・ 駅通制度を考える上で、なぜ島松だったのか、河川地域でのことだけでなく、もっと広い視野での島松の位置付けが見られると良い。

平井委員

- ・ クラーク先生もその道を通してアメリカへ帰っていった。

圓谷委員

- ・ P86に駅通所の展示のゾーニングがあり、この空間の中に展示物が並べられると思うが、収蔵庫というのはいち部分になるのだろうか。

北広島市教育委員会

- ・ 基本的にはそうなるが、受付については、人が常にいて観覧者に対応するところである。
- ・

圓谷委員

- ・ 気になっていたのが、最初の議事の報告の中で補強財が結構入ると言っていたが、部材によってはアンモニアが出てくるなど、文化財に有害なものが出ることもある。
- ・ 今後の詳細の検討の中では、博物館資料として保管されるものについては、どういう材料を使うのかなど整理されると良いかと思う。
- ・ また、温湿度管理が重要で、断熱が高ければ史料の状態をよく維持できる。変化が少ないような環境にしていくことが大事。何を展示するかということにも関わってくるし、ここにどれだけ保存するかにもよる。

平井委員

- ・ 展示物の保存にはボックス的なものを設置することも考えられるか。
- ・ 断熱改修は建物の周りをすっぽり包まないで、一部分だけやると、水蒸気が入り込んで、建築自体を傷めてしまうこともある。部分的に強い改修をしない方が安心である。
- ・ 内側にもう一層コンテナのようなものを入れていくことも考えられるのではないか。

北広島市教育委員会

- ・ 建物内の展示物については、休館後はこちらに持ってきて、現在の冬季休館期間はスコップ類など害がないものを置いている。
- ・ ものに影響がない環境が作れるのであれば、そのようなスペースを用意してもいいと思っている。

オブザーバー:赤井氏

- ・ 気になっているのが、P82の「往時」という記載があるが、これは明治のことか。
- ・ 「あったらしい」のか、「あった」のか、要素によって元々のものなのか、復元なのか、今一度整理が

必要である。

- ・ 史跡に訪れた人は、見たものをそのまま当時がこんな感じだったんだと思う。それをそのまま伝えていいのか。暖水路は年代と場所が分からないのであれば、それをしっかりと伝える必要がある。そのあたりの整理が必要ではないか。
- ・ 蓮池は明治のどこを目指しているのか。
- ・ 水田は当時のものの場所がわかっているのか。
- ・ 明治を目指すのか、昭和も入るのか、そのあたりの整理と、明治の時代で切るのであれば、何が明治からあったもので、何が明治以降に作られたものなのか、確認する必要がある。ここは当時からあり、ここは教育上後から作られたもの、など整理されると良い。

北広島市教育委員会

- ・ 久蔵さんが設置した暖水路の正確な位置は不明である。
- ・ 田んぼはあの位置にあったということはわかっているが、どのくらい広がっていたかは明確ではない。
- ・ 蓮池はあの位置にあった。また、蓮の育成エリアを広くすると計画で整理している理由としては、中山久蔵さんの御子息へのヒアリングによって、昔は今よりも広範囲に蓮が育っていたと聞いた。

角委員長

- ・ 正確にその時代にあったかは分からないものについては、明記をした方が良い。

藤井委員

- ・ どれがいつあったのかの整理は必要だと思った。表のような形で計画に入った方がいいのではないか。
- ・ 諸要素の一覧があるが、設置された年代が入ると分かりやすいのではないか。

北広島市教育委員会

- ・ 資料4について説明。

角委員長

- ・ グリーンが濃いところがちょうど史跡との境目になっているということなのか。

北広島市教育委員会

- ・ そうである。隣接地については、角地なので使えない部分もあるが、概ね5000㎡を超える土地になっている。

オブザーバー:赤井氏

- ・ 水田の遺構とかが隣接地にあったり、埋蔵文化財があるということはないのか。

北広島市教育委員会

- ・ 久蔵さんが田んぼを行っていた以降も、民家が昔あり畑もやっていたので、現代の遺構が出てくるかもしれないが、直接中山家とは関係ない。

北広島市教育委員会

- ・ 明治時代に中山さんがつかっていたものかもしれないが、その後つい最近までずっと別の方が田んぼとして使っていたところを市が買い取った。

森委員

- ・ 史跡の場所の赤いラインはなぜこの範囲で引かれたのか。

北広島市教育委員会

- ・ 修理報告書には、明確にはなぜこのような範囲だったかは記載されていないため分からない。

森委員

- ・ 隣接地の元々の土地の所有について、前の名義は中山さんなのか。元々所有している人が中山さんだったら、駅通所当時、隣接地も中山さんが使っていた可能性は高い。
- ・ もし元々中山さんの持ち物だった土地だとすると、史跡外でも意味がある。
- ・ 市が隣接地を買い取ったということは、元の鞘に戻った感じである。

北広島市教育委員会

- ・ 知っている範囲では、この一体全体が中山さんの土地で、水田だったと想定されている。おそらくずっと中山家が土地を持って水田をやっていたと思う。
- ・ しかし、水田も形が変わったり、使い方が変わったり、その後別の方の土地になったりしているので、当時のものはおそらくないだろうと思う。

森委員

- ・ 現状そのまま維持するという話と、今回一体で整備できることになると、史跡のラインを明示した方がいいのか、考える必要がある。
- ・ 境界には緑の濃いライン（並木）が入っているが、これは残すのか。

北広島市教育委員会

- ・ 基準となる木があるので、史跡エリアということで、明確にラインができる。

森委員

- ・ 史跡になった後に民有地との境目をつけるために、植えた樹木は、歴史的に価値はない。
- ・ 元々全体的に中山さんが使っていた土地なのであれば、樹木は必要ないと思う。
- ・ あえて区切る必要があるのかという考えになってくる。

北広島市教育委員会

- ・ 見学に来た方は史跡のラインがあるとわかりやすいということもある。検討させていただく。

角委員長

- ・ 史跡内は国の補助を受けられるが、一体的に整備しても、史跡外は補助が出ない。
- ・ 史跡を楽しめるような、史跡隣接地の整備というくらいにしておくといいのではないか。
- ・ 史跡隣接地については、微妙な問題が色々ありそうなので、将来的には史跡外も一体的に使えたら楽しいなど思っている。
- ・ 基本計画で将来像図の絵が入ったものをあまり見たことがないが、このような絵は載せるものなのか。

オブザーバー: 赤井氏

- ・ 整備基本計画については、完成予想図をつけるというのがある。

角委員長

- ・ 今日の指摘をされた部分について、計画を修正してほしい。

北広島市教育委員会

- ・ 今いただいた内容については、事務局側で内容を整理し、メール等で確認していただくことになる。
- ・ 今後、市の条例に基づき、この内容についてはパブリックコメントをしなくてはいけない。
- ・ 教育委員会の中で、案として認めてもらう。パブコメ案として議会にも認めてもらう。パブリックコメントは条例に基づいて2月の上旬～2月いっぱいまでパブコメ、3月に入って回答案を作成し、再整理をして、最終決定を3月末にしていく運びになっている。
- ・ 基本的にはこのあと早急に内容を進めたい。できれば年内、まとまらなければ、年明けに委員の皆さんに配布したい。
- ・ 次回の会議については、3月中旬くらいを予定している。
- ・ 21日火曜日に文化庁の市原調査官が来られ、駅通所を見学し、ご意見をいただく。

角委員長

- ・ 調査官のご意見も踏まえて、修正し、委員へ送っていただく。何か意見があれば、フィードバックしていく。